



# ぴっぴだより

No.8. 2024. 10. 30

こころや身体が「揺れる」ことができるのは、強さだなあ、と、ぴっぴの子どもたちやスタッフを見ていて思います。最近、「揺れる」についてずっと考えています。

\*

当たり前ののですが、呼吸によって、心臓の鼓動によって、身体はいつも揺れています。赤ちゃんのときは、リズムカルに自由に呼吸をし、音楽の波動がくればそれに合わせて楽しそうに揺れます。それがいつしか、大人になる過程で、勉強をしながら硬直し、タスクに追われて緊張し、呼吸がつまり、自由に身体を揺ることができなくなっていく。自分もそんな大人のひとりだったなあ、と思います。

わたしが保育の世界に飛び込んだのは、5年前。

それは、常に動き続け、遊び、感情を放出して、変わり続ける子どもたちの輝きに魅せられて、自らの内にもう一度、その命の躍動を見出したかったのかもしれない。

それ以来、本当に「揺れる」ことばかりです。

\*

先日、千曲市で開催されている画家・白井ゆみ枝さんの個展に行ってきました（今ぴっぴの黒板のよこに大きなポスターが貼ってあります）。

ゆみ枝さんは、今年ぴっぴの森でスタッフの聖子さんが行った「自然のなかで自分たちだけの舞台を創ろう!」という連続ワークショップで、色の担当をされた方です。巨大なまるい絵を描かれていて、その個展に添えられたフレーズは、

「うごめく 息づく ころがっていく」。



千曲川や森の中でインスピレーションを得て描いたという作品は、色彩が豊かで明るく、ハッとするような命の眩しさを感じる一方で、枝や水滴、蜘蛛の巣、花や花粉、というモチーフは、いつしか、細胞、血管、神経、粘膜、粘液、と自分の奥深くに息づく自然と重なり、体内のねっとりした生々しさや、命への畏怖の念も感じます。

まるい大きな絵の前に立つと、見ているというよりも、体験している感じ、入ってしまうような感覚です。静止画のうごめきが止まらず、入ってしまえばゆだねるしかなくなり、揺れて揺すられて、聖と俗、明と暗、相反するものが調和し、踊り始めます。

連れていった子どもたちも、いつしかそのまるい世界の中で揺れはじめ、天地の感覚が揺さぶられたのか、床に転がりはじめました。そして、ついには作品の前で踊りはじめました！

ひとりバレエ、もうひとはヒップホップ。4年生女子、はっちゃけるのにブロックがかかるお年頃ですが、何がそうさせたのかな？

このまるい絵は、転がしながら簡単に運べるそうです。命の小宇宙がころころ移動できるなんて、なんだか、シュールでかわいらしい。

\*

ぴっぴの子どもたちも、日々、風に揺られ、雨や雪に揺さぶられ、感情に揺られ、登って、すべって、ころんで、ころころころがって。

自由のための不自由、安全のための危険、平和のための喧嘩。相反するものをまあるく受け止めて、この世の中で生きる強さを身につけているのだなあと思います。

私はどうだろうか。立ちすくむ日もあります。でも、揺れながら、その先へ、その先へ、未知の道を歩んでいたら、いつか踊れるようになるかもしれない。

自然や子どもたちが、いつも私のダンスの先生です。

ぴっぴスタッフ・おおくり呼吸の時間 担当  
西川 真木枝

# 木 森 で"あそぼう! つくろう! みつけよう!" 11月

おがあさん。この服の色はなんの草からつくられたの? と息子が尋ねてきたのは3歳の秋の頃だ。た  
 でしょうか... ひらひらと日々、植物たちから色とりどりの色がつくられる様子を

見ていて、色というものはみな、草木からつくられる...と感じたようです。  
 でも本当に草木から産みだされる色はひとつとして同じ色はなほ豊か  
 力強く、でもあたたかく優しくいつもうっとり眺めてしまいます。

栗の実に染めたやわらかな黄色、ススキの茎で染めたやさしいピンク、クサギの  
 美しい水色、クルミやどんぶりの帽子、さくらの落ち葉など、いつも子どもたちの  
 すぐそばにある森の草木から毛糸が色とりどりに染まっていくなんて...!

本当に魔法みたいですよね!

クサギの葉  
 から... 青磁色



そして、子どもたちのつくりだす織物の素敵なこと。

この季節、鮮やかに染まっていく美しい森の中で  
 子どもたち自身も草木から産まれた色たちと遊ぶ  
 時間はなんて豊かなのでしょう...

そんな様子に感化され、お母もこんなものを

つくってみました。

森で二又に分かれた小枝をみつけて、そこに  
 好きな毛糸をくるくるとまきつけていきます。

草木染の毛糸は不思議なこと、どの組み合わせ  
 も優しく素敵で、ほんの少しの時間で縮みあが  
 るのですが、楽しくて、達成感抜群です!(笑)

そしてそこに森をお散歩しながらみつけた  
 ヤマゲドウのツルや、草花、木の葉などを織りこんで  
 ゆくと秋の森の小枝の織物オガジエのできあがり  
 手を動かして何かをつくりだす、ほんの少しの

時間だけれど心豊かになるひととき

ぜひ、すごしてみませんか?

(:栗の恵)



若苗色  
 日浅緑  
 松葉色  
 青朽葉  
 苔色  
 緑の染色石  
 は数珠い

花葉色、生壁色  
 サワラの落葉でたす  
 伝統色名

土田より

# 新米まつりお知らせ

先日は、気もちのよいお天気の中、稲刈りを無事終わることができました。ひっぴのみなでり又穫のときを過ごせて、とても嬉しい時間でした。ご力をありがとうございました！

そんなり又穫したてのひかひかの新米を飯ごうで炊いて、この秋の実りを親子一斉にお祝いしましょう。

今年の新米まつりでは、センナセンナの森をみんなが使える駐車場として整備するため、新米まつりの参加費をいただき、整備への寄付金に充てさせていただきたいと思います。

また、新米まつりの午後の部では、センナセンナまつり(決定!)を開催します。ひっぴの森にいろいろなお店がオープンします。みなさんにお買いものしていただいた売り上げから、こちらも寄付金に充てさせていただきたいと思います。

ひっぴの暮らしがまた少し豊かになるように、夢の実現に向かう一日として楽しんでいただけたら嬉しく思います。

日時 11月19日(火)

集合 9:00~9:15

お店閉店 15:00ごろ

場所 ひっぴの森

もちもの・水筒・必要な食器  
・軍手

・大人ひとり1000円の参加費  
(ランチおかわり自由、ひっぴの米のおみやげつき)

- 新米
- まゆさん特製ふりかけ
- 具だくさん汁もの
- つけ合わせ
- 新もち米でおもち  
(きなこやあんこなど)



11月12日(火)までに、大人の参加人数を、黒板近くにある紙にご記入をお願いいたします。(祖父母の皆様も歓迎です)